

解 答

① 問1 エ 問2 銅鐸 問3 A 布

② 問1 B 宋 C 明 問2 イ 問3 ア 問4 エ

- 問5
・小さくて軽く、持ち運びやすいから。
・長い時間保存することができるから。

③ 問1 エ

- 問2 (1) 石見銀山 ウ 佐渡金山 ア
(2) 川や土砂などから砂金を得ていた。

問3 家来にほうびとして与えられた。

④ 問1 重さを量って取り引きに使われていた。

問2 宿場町 問3 ウ 問4 ア 問5 イ 問6 錦絵（浮世絵）

⑤ 問1 地租改正

問2 国名 中華人民共和国（中国） 通貨単位 元（人民元）

問3 偽造される可能性が高くなる。

問4 D アルミニウム

- 問5 (金と比べて) 安価である。
(鉄と比べて) 軽く、加工しやすい。

⑥ 問1 貨幣は、奈良時代に都の市で利用されるようになった。平安時代の終わりごろには中国錢が輸入された貿易港の周辺で使われ、鎌倉・室町時代には定期市で広く流通した。戦国時代になると、戦国大名による鉱山開発が進み、各領地で貨幣が生産され、利用された。江戸時代に入り、幕府が貨幣を製造・管理するようになると、全国に広まった。

問2 貨幣は、原料の金属そのものにも価値があるが、朝廷や幕府が管理することで価値が保証され、広く流通した。江戸時代には、信用によって紙に価値を持たせた紙幣が発行された。以降は政府による貨幣・紙幣が流通している。このように、朝廷・幕府・政府は、貨幣の信用を高めて価値を持たせ、広く流通させる役割を果たしている。